

# SR型光雨量データ伝送システム



## 1. SR型光雨量データ伝送システムの概要

SR型光雨量データ伝送システムは、既存の転倒マス雨量計の電気信号を、光雨量データ送信装置部でシリアル光信号に変換、遠隔の光雨量データ受信装置でシリアル光信号を電気信号に変換、テレメータ装置に伝達する機能を持っています。本システムは、設置時調整作業が不要です。また、光雨量データ送信装置内臓バッテリーは10年間使用が可能で、メンテナンスフリーです。

## 2. SR型光雨量データ伝送システムの特徴

転倒マス雨量計は改造は不要です。検定もそのままです。  
雨量計は電源が不要です。  
光雨量データ送信装置はバッテリーで10年間動作します。  
光雨量データ受信装置の接点信号を、テレメータ装置に出力します。  
伝送系は光ファイバで、雷害の影響を受けません。  
メンテナンスフリーで、維持管理費を縮減します。



光雨量データ送信装置  
SR L-1000T

-仕様-  
寸法： W300 × H400 × D120  
重量： 約5kg

## 3. SR型光雨量データ伝送システム適用場所

本システムは、次の様な状況下で効果を発揮します。  
電源確保が困難  
テレメータなどの無線が届きにくい  
リアルタイムでデータを取得したい  
伝送系の2重化を図りたい  
雷が多発する

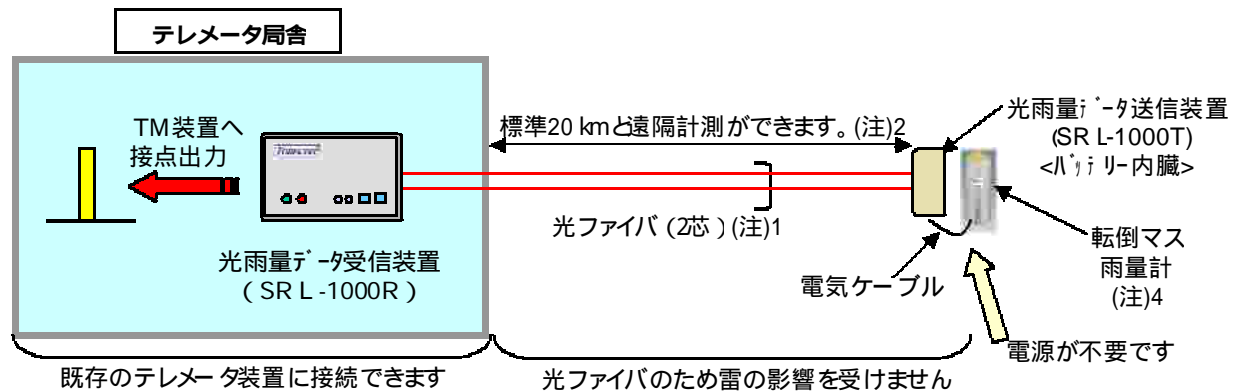


光雨量データ受信装置  
SR L-1000R

-仕様-  
寸法： W160 × H90 × D230  
重量： 約4kg

## 4. SR型光雨量データ伝送システム接続構成

型式	適用	仕様	備考
光雨量データ送信装置 SR L-1000T	SM型光ファイバ	1)電気入力 : 1ch 2)入力信号 : 無電圧接点信号 3)光出力信号 : 1.31 μ帯 4)光ファイバ : SM 2芯	標準 20km以内であれば設置時の調整は不要です。
光雨量データ受信装置 SR L-1000R		1)光入力信号 : 1.31 μ帯 2)許容光損失 : 標準 20dB (±1°) 3)電気出力信号 : 無電圧接点信号 4)接点出力時間 : 100ms ~ 200ms	



- (注) 1.光ファイバはSM型 (シングルモード)を使用します。  
2.光ファイバの伝送距離は、光ファイバケーブル設備の状態により30 km程度まで拡張が可能です。  
3.光雨量データ送信装置の内臓バッテリー寿命は機器納入から10年です。  
4.雨量計は既存転倒マス雨量計をそのまま使用します。気象庁の検定には変更ありません。



株式会社 トランスコア

本社 〒115-0045 東京都北区赤羽1丁目59番9号

〒115 赤羽1F

TEL 03-3903-2471

FAX 03-3903-2473